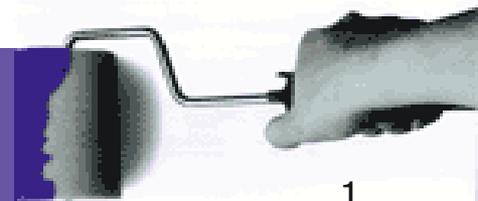


2液エポキシ厚膜床用塗料 ローラー施工用

フローンエポローラー

～ 暮らしのリズムと彩りを添える ～

 東日本塗料株式会社



工場床の塗り替えで 以下のことでお困りではないですか？



金ゴテが使えないけど、**耐久性**のある物にしたい・・・₂
どうすればいいの??

そんな時は……

フローンエポローラー

2液エポキシ厚膜床用塗料で0.4mm程度の塗膜厚を
ローラー施工できる塗床材

特 長

1. ローラー施工

0.4mm程度の塗膜厚をローラー施工が可能

2. 耐摩耗性

2液エポキシ厚膜床用塗料フローン50(塗膜厚1.1mm)と同等の耐摩耗性

3. 耐衝撃性

適度な柔軟性があり、耐衝撃性に優れています。

4. 耐薬品性

5. 耐久性

本当にローラーで施工できます！

フロンローラーNO. 1(専用ローラー)にて施工



施工部位

・内部モルタル、コンクリート面

1. 倉庫
2. 化学工場
3. 食品工場
4. 研究室
5. 実験室



施工事例のご紹介

こんなところに施工できます！

研究棟床施工事例(仕上り)

薬品に強い床材で採用されました。



整備工場床施工事例(仕上り)

重量物の走行に耐えられる塗料で採用されました。



物流倉庫床施工事例(仕上り)

耐久性とローラー施工で採用されました。



注意事項

エポローラーは0.4mm程度の塗膜厚がつくタイプです。

より高い耐久性を求める場合は、より塗膜厚が厚い**フローン50、55**をおすすめします。

※塗膜厚が厚いほど・・・

- ・摩耗し塗膜がなくなるまでの期間が長くなる。
- ・衝撃によりワレづらくなる。

容量・荷姿・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比		塗装面積 0.6~0.8kg/m ² 1回塗りで
	A液	B液	セット	A液	B液	
フロンエポローラー	12kg	2kg	14kg	6	1	17~23m ²
フロンローラーNo. 1 (専用ローラー)	9インチ			-		



乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	30分	22分	15分
上塗り 可能時間	12～24時間	12～24時間	12～24時間
歩行 可能時間	18時間以上	12時間以上	12時間以上
重作業 可能時間	48時間以上	24時間以上	24時間以上

※乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意ください。

性状・一般物性

試験項目	結果	試験条件
外観 A液 B液	着色粘稠液 淡褐色粘稠液	
A・B混合粘度	2600mPa・s	23℃
硬さ	80	JIS K 6253 ショアード
鏡面光沢度	95	JIS K 5600 入射角60度
磨耗質量	130mg	JIS K 7204 テーパー式磨耗試験機 CS-17 9.8N 回転数1000回
耐おもり落下性	合格	JIS K 5600 デュポン式 500g×50cm
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

耐薬品性 JISA5705準拠

◎…異常なし

○…やや艶引けなど異常が見られる

試験項目	試験結果	試験条件
耐水性	◎	水道水
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐溶剤性	○	トルエン、スポット試験48時間
	○	キシレン、スポット試験48時間
	○	エタノール、スポット試験48時間
耐酸性	○	10%塩酸、スポット試験48時間
	○	10%硫酸、スポット試験48時間
	○	10%硝酸、スポット試験48時間
	○	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	◎	10%アンモニア水、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	ソース、スポット試験48時間
耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	切削油、スポット試験48時間

標準工法

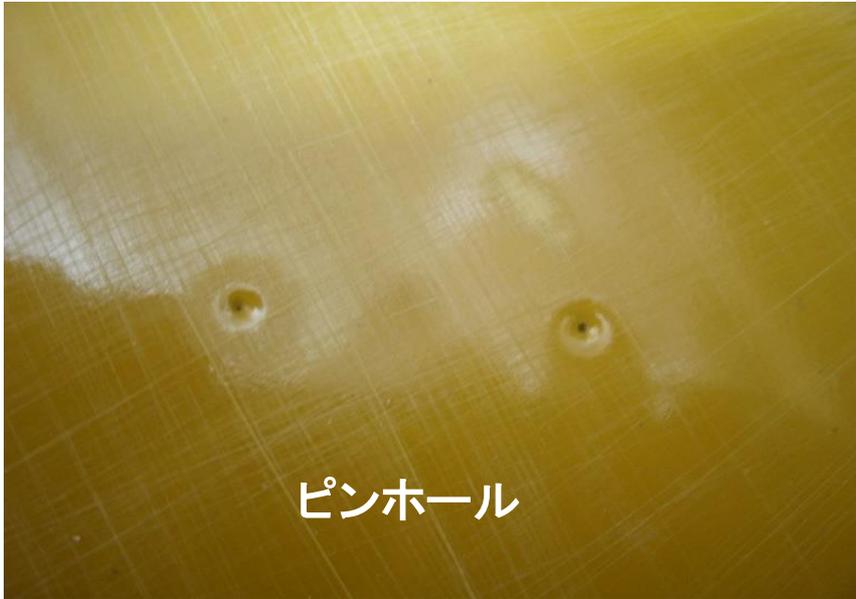
FR-Pコーティング工法(総合塗膜厚約0.4m)

工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗り可能時間 (23℃)	備考
1	素地調整			
2	フローンプライマーH	0.15	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、中毛ローラー、ハケにて塗布する。
3	フローンプライマーH フローンパウダー	0.15 0.15	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したプライマーHを1に対して、フローンパウダーを1(重量比)の割合で計量し、混合、攪拌後中毛ローラーにて塗布。
4	フローンエポローラー	0.6~0.8	24時間 (軽歩行開放時間)	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、フローンローラーNo. 1にて塗布する。

FR-P防滑工法(総合塗膜厚約2.0mm)

工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗り可能時間 (23℃)	備考
1	素地調整			
2	フローンプライマーH	0.15	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、中毛ローラー、ハケにて塗布する。
3	フローンプライマーH フローンパウダー	0.15 0.15	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したプライマーHを1に対して、フローンパウダーを1(重量比)の割合で計量し、混合、攪拌後中毛ローラーにて塗布。
4	フローンエポローラー	0.6	直後	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、フローンローラーNo. 1にて塗布する。
5	フローン珪砂5号(追吹付)	1.8	12~48時間	前工程直後、リシガン(口径3~4mm)にてフローン珪砂5号を散布。硬化後、余剰なフローン珪砂を除去。
6	フローンエポローラー	0.6	24時間 (軽歩行開放時間)	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、フローンローラーNo. 1にて塗布する。

フローンエポローラー不具合事例と対策①



【原因】

コンクリート下地からの通気。
可使時間を超過した材料を塗布。

【対策】

仕上げ工程前の入念なパテ処理。
可使時間内に施工を終了させる。



【原因】

可使時間を超過した材料を塗布。
過剰な希釈を行った材料を塗布。

【対策】

可使時間内に施工を終了させる。
メーカー指定の希釈率を厳守する。

フローンエポローラー不具合事例と対策②

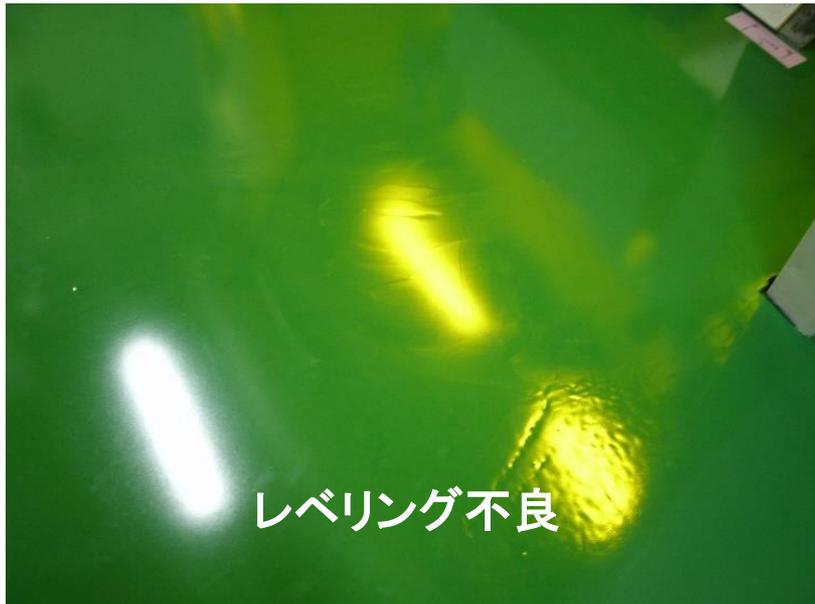


【原因】

下地に油、薬品が付着していた。
シリコンが充満してる部屋で作業を行った。

【対策】

付着している物質を洗剤や溶剤で洗浄後、
施工を行う。
室内を十分に換気し、施工を行う。



【原因】

可使用時間が超過した材料を塗布した。
可視時間内ではあったが、攪拌後、材料を
容器中に放置してしまい、発熱により硬化
時間が早まった。

【可使】

時間を守る。攪拌したら直ちに床面へ流し
延べる。

Q&A

<p>Q1 色は何種類あるか？</p>	<p>A1 常備色（6色）と指定色があります。ご希望の色をお出しすることができます。 淡彩色は短時間でも黄変しますので、耐候性の良いトップコートを塗布して下さい。</p>
<p>Q2 どんな床に塗れますか？</p>	<p>A2 屋内のコンクリート、モルタル面や旧塗膜面に使用できます。プライマーを変更すればその他の素地にも施工可能です。特に整備工場や物流工場での使用が多いです。</p>
<p>Q3 攪拌後、塗料を容器に置いていたらいつもより早く固まってしまうのはなぜか？</p>	<p>A3 攪拌後、塗料を床面に速やかに撒きローラーで均一に塗り広げて下さい。 容器に入れたまま施工をしていると塗料が発熱し、硬化が早くなります。</p>
<p>Q4 厨房に塗装できますか？</p>	<p>A4 フロンエポローラーは耐熱性（40℃以下）が低いいため、御使用はできません。</p>
<p>Q5 屋外でも使用可能か？</p>	<p>A5 太陽光の当たる場所では黄変します。</p>

Q&A

<p>Q6 厚塗りできますか？</p>	<p>A6 標準塗布量は、0.6~0.8kg/m²です。塗布量が多くなるとローラーが回らなくなりますので、御注意下さい。</p>
<p>Q7 ローラーは絶対に専用ローラーでなければならぬのか？</p>	<p>A7 仕上り、作業性の点からフローンローラーNo. 1を推奨しておりますが、マルテ-大塚の砂骨ローラー極細目でもご使用可能です。</p>
<p>Q8 ローラーは何setで交換した方が良いか。</p>	<p>A8 1本で5set施工できます。（目安）</p>
<p>Q9 旧塗膜が柔らかいが施工可能ですか？</p>	<p>A9 エポキシ塗料は塗膜が緻密なため、柔らかい旧塗膜に施工するとひび割れが発生します。</p>
<p>Q10 ピンホールの発生を防止するにはどうすれば良いか？</p>	<p>A10 仕上げ工程前にコンクリートの巣穴をフローンエポパテで入念に処理して下さい。</p>
<p>Q11 塗布量の管理はどのように行なえば良いか？</p>	<p>A11 次のページ（P21）へ</p>

Q&A (A11 1セットで塗装する面積で予め区分けを行います。)

事前に用意する物

- ①チョークリール
- ②メジャー



チョークリール

区分けのやり方

1セットあたりの施工面積に応じて、塗りやすい幅(例:幅2m前後)をメジャーで測り、チョークリールを使って区分けを行って下さい。



チョークリールを使った区分け

計算方法

1セット(14kg)÷使用量(0.6kg/m²)=面積(23m²)

1セット(14kg)÷使用量(0.8kg/m²)=面積(17m²)

区分けイメージ

